

# 総合型地域スポーツクラブ 訪問日記【12月号】

クラブ名	下関市総合型地域スポーツクラブ 連絡協議会	訪問日	11月23日	訪問者	枳本 祥子
訪問詳細	<p>今回は、下関市で開催された「スポーツカーニバル in 下関」へ伺いました。山口県・下関市連絡協議会の主催イベントということもあり、約500名参加のもと盛大に開催されました。種目は、いきいき健康体操、卓球、レスリング教室、ソフトテニス教室、グラウンドゴルフ大会、障害者スポーツ体験コーナー、ペップトーク講演会と幅広いものでした。このイベントは、下関市連絡協議会の所属クラブに加え、下関市障害者スポーツセンター、大学関係者も組織の一員となって、運営されました。市内の総合型クラブだけでなく、様々な方が加わることで、充実した内容が展開できるのだと感じました。また、レスリングでは近隣の高校生・大学生が補助指導者として参加し、このように地域住民が加わることで充実した指導が提供できるとともに、若者に対しても総合型クラブを知ってもらうよい機会になったのではないかと思います。イベントを開催することで、人々の交流の場や総合型クラブのPRの場になります。今後も連絡協議会の活動を充実させることで、クラブ同士の横のつながりがさらに深まっていくことでしよう。</p>	 			

クラブ名	コミュニティスポーツクラブ あとう	訪問日	12月9日	訪問者	岡村 睦美
訪問詳細	<p>今回は、山口市阿東町で活動しているコミュニティスポーツクラブあとうの「プロ野球OBによる野球教室」に伺いました。講師に広島東洋カープの二塁手で、首位打者やベストナイン、盗塁王やゴールデングラブ賞など、俊足堅打のスイッチヒッターとして活躍された正田耕三氏を迎え、小中学生を対象に開催されました。参加者にとっては、元プロ野球選手に直接指導をしていただき、とても貴重な経験になったことと思います。参加者の保護者は、短時間で上手になっており、成長する姿が見えるとおっしゃっていました。教室終了後にはサインのプレゼントもあり、一生の思い出になったのではないのでしょうか。</p> <p>この教室は、県体協助成金であるスポーツ指導者等派遣事業を活用して実施されました。このように助成金を活用することで、地域の方へ魅力ある教室やイベントを提供することができ、クラブの活動の幅も広がっていくと思います。</p>	 			



## ☆レッツ！オリ・パラ☆

2020年  
東京オリンピックまで

**941**日

※平成29年12月26日現在

パラリンピックは、1948年7月28日、ロンドンオリンピック開会式と同日に、イギリスのストーク・マンデビル病院で行われたストーク・マンデビル競技大会が起源とされています。この病院には、第二次世界大戦で脊髄を損傷した軍人のリハビリ専門の科があり、車椅子使用入院患者によるアーチェリー競技会が、戦争で負傷した兵士たちのリハビリテーションとして「手術よりスポーツを」の理念で始められたことによります。1960年には、国際ストーク・マンデビル大会委員会が組織され、ローマで第9回国際ストーク・マンデビル競技大会が開催された大会が現在では、第1回パラリンピックと呼ばれています。

パラリンピックという名称は、元々、パラプレジア（脊髄損傷等による下半身麻痺者）+オリンピックの造語であったとされていますが、半身不随者以外も参加するようになったことから、パラレル+オリンピックとし、「もう一つのオリンピック」として解釈されるようになりました。

山口県ゆかりの選手では、マラソンの道下選手、柔道の廣瀬選手などがリオ大会に出場するなど活躍しています。